

近代化の過程を示す住宅 — 旧山崎家別邸 —

松江町二丁目にある旧山崎家別邸(以下、別邸)は、9月30日付けで国の重要文化財(建造物)に指定されました。市における重要文化財指定は、全体で13件目となり、建物としては、5件目(15棟目)となります。「わが国における住宅の近代化の過程を示している」ことにその歴史的価値が認められ、指定につながりました。

別邸は、老舗菓子店「亀屋」5代目・山崎嘉七の隠居所として大正14年(1925)に建てられました。設計は、住宅作家の先駆けと言われる保岡勝也で、施工は地元川越と東京の職人の合作です。別邸の特徴は、和と洋の建物が並び建つ点で、外観は、和洋の調和が図られ、違和感なく仕上げられています。内部の見どころの一つは、和館の各所に見られる光付けです。光付けとは、日本建築に見られる高度な技を要す加工で、柱や礎石など材料同士の接する面をその形状に合わせて隙間なく仕上げることで、客間や居間の丸い柱に合わせるために建具に光付けがされています。



建具の光付け。丸い柱に合うように加工されています

別邸は、生活様式の洋風化による近代化の特徴が見られるとともに和の伝統的技法が随所に見られる建築です。大正時代の面影を感じられる別邸にぜひお越しください。



農政課 224-5939

キウイ

「キウイは酸っぱくて苦手だったけど、このなら甘くて食べられる」と話すお客さんがいるほど、甘いキウイを栽培する藤倉の石井正さん。キウイは木になったままでは熟しにくいので、収穫後に温度・湿度等を工夫して甘くする「追熟」を行います。「皆さんの手に届く頃に、甘くて軟らかい食べごろになるように、予約を受けてから追熟しています」と石井さん。栽培で特に気を使っていることは灌水のタイミング。キウイは乾燥すると果実の皮にしわが寄ってしまうので、土が乾燥しないように工夫しているとのこと。

石井さんのキウイは11月9日から12月末の土・日曜日限定で販売しています。追熟するため購入の際は約1週間前に予約が必要です。詳しくは「石井ぶどう園」のホームページをご確認ください。



キウイは冬の訪れを感じるこれからが旬。石井さんは合計5品種栽培していて、定番の緑や黄色に加え、赤い果肉のキウイも栽培しています。さまざまな品種の中からお気に入りを見つけてみませんか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

コマツナ、ネギ、ダイコン、ハクサイ、サツマイモ、サトイモ、ゴボウ、キュウリ、キャベツ、ニンジン、長ネギ、カブ、菜の花



玉一を送る県立川越高校応援団(昨年撮影)

市内で交通規制が行われます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

小 江戸川越ハーフマラソンは、応援するたくさんの人たちも魅力の一つです。沿道から声援を送ったり、演奏したりして、全国から集まったランナーを後押ししています。大会当日は、市

上からの射撃を射ます。スピードに乗った馬や、そこから矢を放ち的を射抜くさまはとても迫力があり、会場から歓声が上がります。



見事命中! (昨年撮影)

11 月は、16日(土)に河越館跡で河越流鎗馬が、24

編集後記

どんぶり

広報川越1450

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。 224-5495 225-2171

発行日/令和元年11月10日(毎月10日・25日発行)

発行/川越市 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/> 049-224-8811(代表) 049-225-2171

編集/広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。



Fontworks UDFont